

ているということを開いております。しかし、何ぶんにも雪が問題になるところでありまして、雪のために未解決になっているというような状態であるということを開いておりますが、その点では熊本までの延長は採算面からいっても、または技術面からいっても、非常に無難だと有望視されていると思われま

この前、行なわれました九州各県議長会議で、福岡・佐賀・鹿児島・熊本の四県の知事と議長による九州新幹線建設促進期成会が結成され、寺本知事さんが会長になっておられます。そうしたことで四県の会長であるならば、四県のために働きもしなければならぬわけですが、そういう中で熊本までの延長ということについて一段のご努力をお願いしたいと思います。

**知事** 新全国総合開発のネット・ワークを熊本まで伸ばせとずいぶん頑張ったのですが、政府もなかなかかきかす結局、福岡までとなり、それ以南は他の幹線と同じように一段おちの幹線計画になったわけでございます。

鉄道の敷設というのはご承知のとおり非常に政治とからむ問題でございます。新全総のネット以下のところは、議員立法でやろうかということになり、だいたい煮えて党本部では、そのことをしきりにいわれるわけです。われわれとしてもありがたいとは思いますが、熊本までいま議長からお話のとおり、熊本まで

は、そう政治路線といわずにすむだけの経済的な裏付けがあるというふうには、国鉄でも運輸省でもだんだん認識を改めたことでもあります。折角県内の期成会を作ったことでもありますし、熊本までは政治路線といわずに建設が進められていくような運動を続けていきたいと思っております。

**議長** 昨年の九月、知事さんが東南アジアへおいでになつていた時で、副知事が私達に同行されたと思いますが、新幹線の鹿児島までの誘致ということで、自民党の田中幹事長にお会いしたのです。その時、はからずも口をすべらしたといいますが「熊本まで予定はある」というような意味のことをおっしゃったわけですから、もしらら鹿児島議長の折角だつたら鹿児島までといいましたら、「これはうかつにしゃべった」というような顔をされて、「ここ三、四年のうちには日本の経済はどんどん上がって、三倍も四倍もなると、それであな方がここで頭を下げてたのまれることは、これは不必要に等しい。頼まないでも経済の方が待たないよ」というようなことで話を濁しました。そういうことでさきほど申し上げましたように国鉄の方も熊本までの延長とすることを計画しているのかなか感じましたわけですが、

**知事** これは今後とも運動を続けねばならないと思っております。  
**議長** それとともに、鹿児島本線の復

業進出の希望を申し出てるところでございますし、港もこれからだんだん活きてくると思っております。一万トン、一万五千

トンの岩壁でございますが、その岸壁が十分活用されるような臨海工業地帯にしたいと思っております。

## 転機に立つ

### ことしの農政

**議長** 現在の国策の中で、最も関心事ということになりまして、何と申しましたも農業問題だと思っております。私は農政に

ような体制をつくっておかねばならないと思っておりますが、知事さんのこれに対するお考えは、

議事 農業問題は難しい時期にきましたね。米はあまる。果物は自由化されて、農民にご安心願う予算はどうとどうしに持ち越されたということですか、農民の皆さんも非常に心配だったろうと思えます。選挙を通じていろいろ議論はされましたけれども、やはり予算が最終的にかたまっていないと農民の皆さんにはご安心いただけないだろうと思

います。  
米の作付転換は最高額が四万円を下だらんと決めておられますけれども本県の収量は、平均四百八十キロです。キロ七十円見当とすると十アール当たり三万三千六百円位になります。これは、ことしの政府の予算編成の

脅威となるわけです。大変難しい問題ですが、熊本県は何とかこれに対処し得る

際、農民の皆さんにご安心願えるところまで運動を続けても上げていかねばならないと思っております。

線化・電化があるわけでございます。電化は四十五年の十月までには一応鹿児島まで実現するというところで、復線化は四十五年十月のダイヤ改正まで八代まで完成するという事になっておりますが、この見通しは大丈夫でしょうか。  
**知事** これは見通しが一番確実なものだろうと思っております。

#### □ 大型港湾時代へ

**議長** 次に、臨海工業、港湾の整備の問題ですが、ご承知のとおり熊本はこれという港がありません。水俣とか八代とか三角とかに限られています。近代的な貿易港としての設備が非常に弱い。ために発展から残り残されたという面があるわけですが、したがって、今回策定されました新県計画の中の大型港湾としての有明新港などの計画を是非実現させてい

らばと思うわけです。  
**知事** お話のとおり、本県の港、三角も八代も水俣も一万五千トンからせいぜい二万トン止まりです。最近の船舶の大型時代はどうしても港としては十分でないという感じが非常にいたします。そこへもってきて国内で港として、大型港湾をつくり得る開発可能なところが、そろそろ底をつけてきている時代と思えます。有明海は水深二十メートルという線が、比較的沿岸近くまでできておりますから、大型港湾の候補として名のり出ている時期じゃないかと思えます。  
昨年の秋、鮫島博士、黒田博士（港湾コンサルタント）など日本の港湾工業界の権威を招いて、一応の調査はしてもらいました。これからは本格的な念の入った調査を依頼してみなければならぬと思っております。

**議長** 夢のような私たちの希望かもしれませんが、それが実現するかどうか、熊本市の発展というのが非常に大きく浮び上がってくるかと思

ます。  
それから八代港でございますが、現在の八代港を知事さんの一大英断でもって最大限に拡大拡張できるような施策をしていただきたいと思います。

**知事** 八代は造成できたところを払い下げるということを暮れの県会でご承認いただきました。早速、全国各地からの申し入れをさばっているわけですが、工

果樹の問題は皆さんに非常に心配い

#### □ 海洋・森林観光の開発へ

**議長** 大変ご心配と思っておりますけれども、そういうことで、知事さんのこの上

次、観光の問題でございますけれども、熊本県は九州の観光ルートの重要な位置にあり、阿蘇、天草両国立公園のほかに、豊富な観光資源をもっている。これが開発しだいで将来、飛躍的な発展が期待されると思

もちろん阿蘇を中心とした高原開発とか阿蘇北、天草一帯の海洋観光とかあるいはまた五木方面の森林観光など。それぞれ特性を生かした開発が望まれるわけでございます。特に国民生活が豊かになつてまいりますと、ヨットとかモーター

このような観光事業の質的な変化と、もろもろの交通施設の整備、条件、変化等をうまく組み合わせる観光ルートの形成、これは必ず観光繁栄を促すものじゃないかと思うのですが、どのようなものでしょう。  
**知事** お話のとおり、熊本県は観光資源には非常に恵まれた県だと思